

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

賑14	特別展「マダガスカル 霧の森のくらし」	<p>3月14日から6月11日にかけて国立民族学博物館で特別展「マダガスカル霧の森のくらし」を開催した。展示は「マダガスカルの村落部の日常生活を紹介すること」「生活に埋めこまれたものづくりを全体的に提示すること」「無形遺産保護条約の考え方を普及すること」「文化と自然の結びつきについて考える機会を提供すること」を目的とした。</p> <p>事業実施により、約3万5000人の来場者に展示を見てもらうことができた。4月に入ってから冷え込みのため、当初予定していた4万人の来館は達成できなかったものの、ここ数年の春季特別展としては決して悪い成績ではなかった。</p> <p>家族連れの来館者が多かったのは、展示スペースにゆとりをとり、ベビーカーを持ち込んでも無理がなかったほか、資料を少しずつ理解していただくための回路を準備していたためと考えられる。具体的には、資料を手にとって触れるコーナーを設けたり、ボランティアにマダガスカルの遊びを指導してもらったり、日本人作家にマダガスカルのものづくりを実演してもらったりして、展示物とじっくり向きあうのが苦手な子どもでも、少しずつ展示物と馴染んでいった。この点は、大阪府下の博物館学芸員のグループでも評価された点であり、博物館学を専攻する大学生も「体験型コンテンツが多い」と評価していた点である。</p> <p>また、マダガスカルはじめ海外からの来館者にも好意的なコメントを受けた。スミソニアン協会国立自然史博物館の民族誌部門のキュレーターからは、「マダガスカルの木彫りを日本人が実演し、モノそのものよりもその背景に目を向ける工夫はとてよよい」という評価を得た。</p>	5,000	【賑わい】公演・展示
	大学共同利用機関 法人人間文化研究 機構国立民族学博 物館	<p>万博記念公園</p> <p>【実施期間】2013/3/14～2013/6/11</p>		
	<p>http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/mistyforest13/index</p>			